

地域活動支援センターの主な行事予定(令和5年度)

月	日	事業名(開催場所)
4	21日(金)	公衛協事務担当者会議①(広島県公衆衛生会館)
5	17日(水)	TEAM MATE ひろしま総会(広島県公衆衛生会館)
	25日(木)・26日(金)	専門研修「防災・減災コース」 (25日: 環境協東部支所、26日: 広島県公衆衛生会館)
6	16日(金)	代表者会議定例会・募金委員会①(広島県公衆衛生会館)
	24日(土)	【脱温】地球温暖化防止活動推進員新規養成研修(前期)
	29日(木)・30日(金)	専門研修「フレイル予防コース」 (29日: 環境協東部支所、30日: 広島県公衆衛生会館)
7	3日(月)・4日(火)	専門研修「学習教材の活用方法習得コース」 (3日: 広島県公衆衛生会館、4日: 環境協東部支所)
	15日(土)	【脱温】地球温暖化防止活動推進員新規養成研修(中期)
	20日(木)・21日(金)	第61回環境保健夏季大学(ツネイシまねみビレッジ・福山市)
8	3日(木)・4日(金)	専門研修「広報ツールづくりコース」 (3日: 広島県公衆衛生会館、4日: 環境協東部支所)
	23日(水)・24日(木) 25日(金)	代表者会議専門部会①(23日: 環境、24日: 健康、25日: 組織) (広島県公衆衛生会館)
	24日(金)	公衛協事務担当者会議②(広島県公衆衛生会館)
11	29日(水)	第64回広島県公衆衛生大会(佐伯区民文化センター・広島市)
12	6日(水)・7日(木) 8日(金)	代表者会議専門部会②(6日: 環境、7日: 健康、8日: 組織) (広島県公衆衛生会館)
	16日(土)	【脱温】地球温暖化防止活動推進員新規養成研修(後期)
	21日(木)・22日(金)	専門研修「企画づくりコース」(未定)
2	2日(金)	代表者会議定例会・募金委員会②(広島県公衆衛生会館)
	9日(金)	【脱温】脱温暖化推進員フォーラム(未定(広島市))
3	13日(水)・14日(木) 15日(金)	ブロック会議 (13日: 広島県公衆衛生会館、14日: 環境協東部支所、 15日: みよしまちづくりセンター)

地域活動支援センター・脱温暖化センターひろしまは、当協会の公益事業部門として、公衆衛生推進協議会(以下、公衛協)を主体とした「コミュニティにおける健康づくり、環境づくりの支援を行っています。今年度からスタートする第2次経営ビジョン第期中期経営計画(令和5〜7年度)では、①「地域の特

色や特性を活かした活動ができる公衛協」を旨とした支援体制の構築、②防災・減災復興のための公衛協の役割の明確化と実践できる体制づくり、③多種多様な健康づくりや、生活環境の維持向上を目指す事業の推進、④地域脱炭素への取り組みの推進と脱炭素に向けた機運の向上、⑤①〜④を達成するための

「プラットフォーム・かんほきょう」(略称 PFK)の開発と活用を重点方針に掲げています。今年度は、特に以下の点について重点的に取り組んでいきます。

等、公衛協活動が停滞したところがあります。そこで、全ての市町公衛協の現状を把握するためのヒアリングを実施し、地域課題に応じて必要な支援が行えるよう意見交換を行います。

継続して行ってきた組織的実践活動の支援を通じて得られた「人材」「情報」「ネットワーク」などを集約・整理して、今後取り組んでいく事業に活用します。

①公衛協の現状把握

令和元年からの「コナホキょう」構築のための情報データベースの作成

③カーボニュートラル

宣言市町との連携のための情報収集

第64回地区衛生組織活動資金募集(環境・健康募金)事業スタート

地域の「環境づくり」「健康づくり」の財源にご理解・ご協力をお願いします

今年度で 64 回目を迎える地区衛生組織活動資金募集(通称:環境・健康募金)は、「私たちの地域は私たちの手で」という思想のもと、地域ぐるみの公衛協活動を行うための活動資金を集めるものです。

昭和35(1960)年2月の広島県公衆衛生大会で、世界保健デー(4月7日)を「健康感謝の日」と定め、毎年募金活動を実施しています。

市町の公衛協が集めた募金は、地区衛生組織活動資金募集委員会で集計し、市町公衛協、環境協、事務費に配分され、公衆衛生活動に役立てられます。

市町公衛協に配分された募金は、「ごみ減量・リサイクル事業」「地域清掃・美化活動」「脱温暖化事業」などの環境づくり事業、「食育」「ウォーキング」「フレイル予防事業」などの健康づくり事業に活用されています。公衛協の活動内容は市町



によって異なりますので、詳細は各市町公衛協事務局にお問い合わせください。

環境協配分金は、全県共通事業重点メニューの活動支援グッズの作成、公衛協のリーダーを養成する「合同研修」の開催、公衆衛生推進手帖の作成、学習教材の貸し出しなどに活用しています。

事務費配分金は、募金事業をスムーズに進めるためのPR用ポスターやチラシ、募金回収袋の作成、振り込み手数料などに充てられます。

みなさまからお預かりした募金は、市町の公衆衛生活動のために使われ、地域の「環境づくり」と「健康づくり」に役立てられます。

公衛協が継続して活動するため、募金の主旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

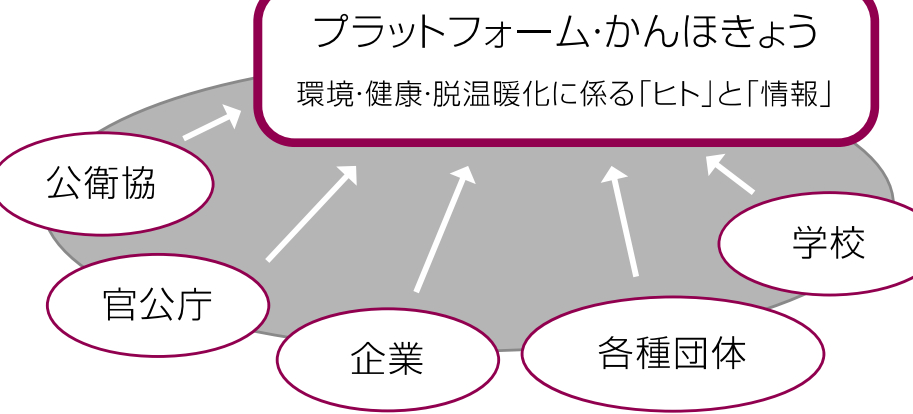
(地域活動支援センター)

現状把握のためのヒアリング実施

フレイル予防を全県共通で

とを宣言した市町(広島県内で11自治体(令和5年3月末現在))に対して、住民が協力参加できる取り組みが提案できるよう、情報収集を行います。

例年、全県の公衆衛生推進協議会関係者が一堂に会し、情報交換などを行う場として開催している「第61回環境保健夏季大学」を、7月20日・21日(日帰り2日)にツネイシまねみビレッジ(福山市)で開催します。



【プラットフォーム・かんほきょうとは】

元気で活発な地域コミュニティを実現するために、「ヒト」と「情報」をコーディネートしながら、ニーズの把握とシーズを提供。「個と個・個と組織・組織と組織」を繋ぐほか、「コミュニケーションが可能な仕組み」を兼ね備えたプラットフォーム(ネットワークの基盤)のこと。